

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったな

～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切にし、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 30 令和7年12月19日 発行

校長 黒島 俊一

想定にとられないこと

12月8日(月)午後11時15分、青森県東方沖を震源とする地震がありました。震源の深さは54キロ、地震の規模を示すマグニチュードは7.5と推定され、青森県八戸市で震度6強、帯広でも震度4の大きな揺れとなりました。

学校に異常はなく、翌9日(火)もいつものように子供たちを迎え入れることができましたが、真夜中の大きな揺れに驚いて跳び起きた方も少なくなかったのではと思います。

地震といえば、今から14年前の3月11日に発生した東日本大震災をどうしても思い起こします。多くの人が命を落とし、津波で家が流され、何もかも壊され、持って行ってしまったあの災害は、思い出すたび心痛むものでありますが、この未曾有の大地震・大津波の際、岩手県釜石市の小中学生はほとんどの子が生き延びることができたそうです。それは長年にわたり津波からの避難訓練や防災学習を積み上げてきたからと言われていています。その指導にあたられていた、現群馬大学名誉教授の片田敏孝氏が子供たちに伝えていたことに、「想定にとられるな」という言葉があります。

当時、この地震の際、地震や津波で心配される「ハザードマップ」に落とし込まれた地域に加え、実際には津波がこないとされていた地域まで大津波が押し寄せて、たくさんの人々が犠牲になってしまったわけです。自分の命を守るためには、たとえ安全と言われていても、できることをできるだけして手を尽くすことが大切ということです。

最悪を想定して、最善を尽くす

危機管理の視点では、本校には6年前の令和元年に、ヒグマが山から出てきて、道路やウツバツ川をわたって、最後には帯広小学校の中庭に居座り、猟友会により駆除された出来事がありました。当時、報道等でも大々的に取り上げられ、休みの日ではありましたが、「まさかこの街場に!」と誰も思ったことです。今年の漢字「熊」が物語っているように、全国で頻発している、街場での熊の出没事案。滅多にないことであったとしても、日頃から意識をもって、最悪を想定し、危険を予測しながら、「かもしれない」ことを防ぐため、最善を尽くして子供の命を守り抜くことが、学校が最も大事にしなければならないことと思うのです。

そしてこの大雪

今月は地震、そして臨時休校になってしまうほどの50センチを超える大雪です。今週14日(日)から15日(月)にかけての大雪は、ご家庭でも雪かきが大変だったものとお察しいたします。翌火曜日から学校は再開しましたが、引き続き通学路等、道路状況が心配されます。お子さんには①(通学路の)雪山に登らないこと②歩道が滑りやすく、でこぼこに注意すること③歩道が狭くなっているので慌てないこと、など家庭でもお子さんへの声かけをお願いします。

標準学力調査(全学年)で力だめし

6年生は毎年4月に全国学力学習状況調査を実施しておりますが、ほかにもこの時期に3、5年生は国語、社会、算数、理科の4教科を市教委負担で、また1、2、4、6年生も保護者のみなさんにご負担いただいて1～2教科を実施しています。今年は学級閉鎖等で実施がすれ込みましたが、子供たちは自身の学びの力試しに全力を尽くしていました。結果は、2月ごろにお伝えできる予定です。なお、6年生の4月調査の分析結果がまとまりましたので、後日お知らせいたします。



例年より早い時期で、まとまった降雪が見られました。20日よりスケートリンク雪ふみ等、造成作業が始まります。お子さんのスケート靴の準備をどうぞよろしくお願いします。スケートリンクオープン日は別途お知らせいたします。

学校教育指導訪問と「ちょこっと」参観

今年度2回目となる学校教育指導訪問が過日行われました。本校の教育活動の充実と改善に向け、十勝教育局と帯広市教育委員会指導主事のみなさんがお越しになり、研究授業（5年1組 算数専科 佐藤太紀 教諭）の参観のほか、全学級の授業参観を行い、学校の取組のよさや課題について丁寧にご指導いただいたところです、私たちの職責は、人を教え、導く教師の立場におごらず、子供を教え導く立場として、導かれる子供以上に学び続けなければならないものです。

本校は、こうした訪問や9月に行われた教育研究発表会での授業公開のほか、「ちょこっと参観」という文化もあります。（写真右上）互いの日常授業の参観から、よさを学び合い、自身の指導に生かしていく、教師が互いに高め合う学びの文化です。

一人一人の先生方が、教師になろうとした時の純粋な初心の決意と願い、思いを忘れず、現状に甘んじないで、互いに高め合う学校として努力を続けて参ります。



第2回学校運営協議会 （コミュニティスクール）から

令和7年度帯広小学校 コミュニティスクール運営協議会

- 委員長 松本奈津子 氏（元本校PTA会長）
副委員長 戸澤美沙希 氏（現本校PTA副会長・新）
Co. 畠山香穂里 氏（元本校PTA 各種ボランティア代表）
Co. 本間 諭美 氏（元本校PTA役員）
委員 佐藤 悦弘 氏（元本校PTA 救命救急士）
委員 小川 真弓 氏（児童保育センター指導員）
委員 豊田美恵子 氏（大乗寺 地域住民）
委員 大玉 泰規 氏（元本校PTA副会長 ミドリ写真館）
委員 大島 健 氏（元広陽小学校長 地域住民・新）
委員 黒島 俊一 氏（現帯広小学校長）

※ 以上委員一覧 新は新規 Co.はコーディネーターの略

今年度2回目の学校運営協議会（コミュニティスクール運営協議会 通称CS）が12月3日に開催されました（写真上）。

今回は低学年の授業参観日とタイアップして、授業を参観の後、子供や学校の様子等についての所感などを交流しながら、新しい学校教育目標策定に向けての、学校や子供への願いなどについて「熟議」しました。

やる気のある様子の子供、質の高い授業への評価とともに、市内学校へもっと取組を広めてほしいという期待、また新しい教育目標策定に向けて、「シンプルでコンパクト、わかりやすく、言いやすいものにすること」、などの要望もあがりました。また、PTAとCSがもっと互いの協議を交流し合うことの大切さなど、建設的な意見も多く寄せられました。

この冬休みは、夏休みに続いてCS主催の「花おびキッズパラダイス」（畠山氏担当）、また2月には「救命救急講習」（佐藤氏担当）が行われます。花壇のデザイン募集も始まり、CSの取組はもう本校にはなくてはならないものです。活発な協議と取組に感謝申し上げます。

帯広小の
今日のきらきらさん

公文教育研究会
教材進級賞 算数部門
3学年C教材進級
西部 紗蘭 さん
素早い計算の達人！



一般財団法人
北海道剣道連盟
剣道9級
2年 武内想一郎 さん
鋭い剣の達人！



日本英語協会
実用英語検定
3級合格
2年 橋 菜寿さん
英語の達人！



**学校評価
アンケート
ご協力
ありがとうございました
集計結果は
3学期に
お知らせ
いたします**